

【児童の実態】

- 1 Nスタ5を意識し、学習へ前向きに取り組む
- 2 素直な態度である
- 3 よい学校づくり、伝統づくりに取り組む気持ちが強い

【学校課題】

- 一人一人に確かな学力を定着させ生きる力を育む
- 1 確かな学力の定着
教科の見方・考え方を働かせた深い学び
 - 2 豊かな心の育成
自他を尊重し、相手を思いやる心を育む
 - 3 教職員の資質向上
指導力を身につけ、市のリーダーに
 - 4 **いじめ不登校がなく明るい学校**
 - 5 開かれた学校づくり(中校区コミュニティスクール)
家庭・地域・幼保・中学校との連携強化

【県教育委員会の基本方針】

- 1 一人一人に生きる力を育む指導
- 2 学校教育目標具現に徹する経営
- 3 創意ある教育課程の編成・実施
- 4 業務の効率化等による児童生徒と向き合う時間の確保

【保護者・地域の実態と願い】

- 1 教育に対する関心が高く学校への期待が高い
- 2 地域の方や保護者は大変協力的

【市教育委員会の基本方針】

- 1 たくましく生き抜く力の育成
◎確かな学力、思考力、判断力、表現力の育成
- 2 安心して学べる教育環境の提供
◎生徒指導、教育相談体制の強化

自分で考え正しく判断

【学校の教育目標】

ねばり強く やりぬく子

- ・自分で考える (自立力)
- ・仲間と助け合う (共生力)
- ・最後までやりきる (自己実現力)

自己肯定感

【めざす学校像】

笑顔あふれ
誇りある学校

【児童の活動のあいことば】

わたしが みんなと さいごまで

人権尊重

【具現の場と指導の重点】

確かな学力の育成

- ① 学び合う学習集団づくり
 - ・ハンドサイン等学業指導の充実(つなぐ)
 - ・主体的・対話的で深い学びづくり
 - ・学び方(Nスタ5)の充実
 - ・終末時の学び方の価値付け
- ② 学びを深める授業
 - ・教科専門性の実施と教材研究の充実
 - ・質問を重視し、討議する深い学び
 - ・学びを深めるICT機器の活用
 - ・学びを日常生活や社会に広げる終末
- ③ **自己肯定感を育くむ指導**
 - ・よさの顕在化(自信をもたせる価値付け)
 - ・反復学習による習熟
習熟問題、確認テスト、再学習、教科学習Webシステム
 - ・ドリーム探究ノートの実施
- ④ 豊かな読書活動の充実
 - ・リーディングデーの実施(週1回)
 - ・読み聞かせ活動の実施

豊かな心の育成

- ① ニコニコあいさつの活性化
友達どうし、見守り隊の方、地域の方
- ② よりよい社会を創ろうとする心の高揚
手伝い、ボランティア手帳の活用
- ③ 道徳の時間の指導の充実
 - ・道徳性を主体的に養う授業
 - ・重点B-(1)親切・思いやり B-(3)礼儀 D-(1)生命尊重
 - ・心タイムの充実 ・水Gの話し合いを軌道に乗せた
- ④ 一人一人を大切にしたい学級経営
 - ・よいとこみつけの充実
 - ・いじめを許さない意識の高揚
 - ・エンカウンター、SST等による仲間づくり
- ⑤ 主体的に動き活発な児童会活動
 - ・常時活動と企画活動(クラブ)の充実
- ⑥ **未来を切り拓くキャリア教育**
 - ・キャリアパスポートの実施
- ⑦ 特別支援教育の充実
 - ・交流学級との連携強化・合理的配慮の実行

健やかな体の育成

- ① 規則正しい生活習慣づくり
 - ・笑顔であいさつ ・メディア抑制
 - ・早寝・早起き・朝ご飯(眠育)
- ② 教育相談体制の充実
 - ・**いじめ不登校ゼロを目指す取組**
 - ・未然防止、早期発見・早期対応
 - ・子どもと向き合う時間の確保←ノーマン宿題デーの実施
- ③ 安全、安心な学校づくり
 - ・体で覚える月1ショート訓練
 - ・自分の命を自分で守る態度の育成
 - ・たくましい体力づくり
- ④ 学級遊びの充実(20分休みは外)
 - ・チャレンジin岐阜、学年スポーツレク
 - ・体力測定結果の活用(持久力up)
- ⑤ 食育指導の充実
 - ・アレルギー食への慎重な対応
- ⑥ **新型コロナウイルスに対する予防**

教育活動の3本柱

授業・挨拶・ボランティア

地域社会・未来へ

【地域・保護者との連携】

中学校区コミュニティスクール

LSS (Life Study Support)

～育ちの9づくり～

- 3つの生活づくり ①早寝・早起き・朝ご飯 ②時間を守る ③ボランティア活動(お手伝い)
- 3つの学習づくり ①家庭学習の習慣化 ②読書 ③地域先生(放課後子ども教室、地域人講師)
- 3つの支援づくり ①1%投資活動 ②あいさつ ③声かけ・見届け

【開かれた学校】

HP, 通信, 常時公開

【鍛え・支え合う職員集団】

- ① 全職員で全児童を育てる
- ② 自ら気づき、動き、支え合える
- ③ 愛情を注ぎ、子どもを軸足に考える(人権配慮)
- ④ 体調管理を重視する(毎週水、8のつく日には18時30分前帰り)
- ⑤ プロ意識を持ち更に力量を高める(教科の専門性、学年体制)
- ⑥ 教育相談、生徒指導に対しスピード重視で対応する
- ⑦ 教職員として誇れる(教育公務員としての高いモラル)
- ⑧ スリム化を工夫・実行する